

主に「自然との関わり・生命尊重」が育った実践

活動名 蚕を育ててできた繭玉でお花作りをしよう (11月)

保育者の願い(ねらい)

- 蚕の飼育をとおして、命の大切さに気付き、身近な生き物を大切にしようとする。
- 生き物の成長を楽しみながら、その変化する様子に気付き、その不思議を感じ取りながら、生き物への興味・関心を深める。
- 自分の考えを言葉にして表現すると共に、友達の考えも聞きながら、遊びを深めようとする。
- 「お店屋さんごっこ」や「お店体験」とおして、人に役に立つことができる喜びや、周りの人を大切にしようとする気持ちをもとうとする。

援助のポイント

- 子供たちが表現する一人一人の発想や思いを丁寧に受け止め、安心して自分の考えを表現できるようにする。
- 子供たちがお互いの考えを十分に伝え合えるよう、側について見守り、必要に応じて言葉にするのを手伝ったり、話し合いの仲立ちをしたりする。
- 蚕の飼育や繭玉を使ったお花作りで頑張っていることを認めたり、できなかったことができるようになったことを共に喜んだりして、これからの遊びや活動へのやる気につなげていく。

環境構成の工夫

- 蚕を育てやすいよう、園庭に蚕の餌となる桑の木を植えておく。
- 育ててきた蚕の繭等を見えるところに置いておき、これまでの活動とこれからの活動のつながりが分かりやすいようにする。
- 今までの活動(ひまわりの種から油取り、焼き芋づくり、紙作り等)を掲示物としてまとめ、今までの活動を振り返ることができるようにする。
- 制作活動を十分に楽しめるよう、広いスペースや十分な時間を確保する。
- 子供たち一人一人のイメージを実現できるよう、必要な道具や素材を豊富に用意しておく。



これまでの経緯

- 日本の伝統産業の「養蚕」に興味・関心をもつことができるよう、毎年蚕の飼育をし、「蚕の卵～幼虫～繭玉作り」のサイクルを観察してきた。
- 園内で育てている桑の木の葉をはさみで切って小さくして、蚕に餌やりをする中で、「どんどん大きくなっていくね」「糸が出てきてるね」と、蚕の成長や変化に気付き、それを友達同士で伝え合うことを楽しんだ。
- 完成した繭玉を使って何を作りたいか話し合いをした。そうして「ふわふわしてお花みたい」「ここが花びらになりそうじゃない?」「お花ができれば、お洋服につけられるようにしたい」というアイデアが出た。
- 「繭玉を使ったお花」のイメージを実現させるために、その作り方を調べたり考えたりした。



当日の活動内容

- 花のつくりを思い出しながら、お花のコサージュの作り方をみんなで確認する。
- 役割を分担して、繭玉を使ったお花のコサージュ作りをする。
(1「繭玉をほぐす」2「茎を通す」3「安全ピンをつけ、袋詰めをする」)
- 袋詰めされたお花のコサージュで、お店屋さんごっこをして遊ぶ。



※今後の展開として、「お店屋さんごっこ」や「お店体験」をするために必要なものを考えたり用意したりする。そして、どんなお店にするかを考えたり、お店屋さんになるための挨拶の仕方を練習したりする。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の表れ

- 蚕に忘れずにエサをあげたり、その様子を観察したりして、その命を大切に守り、育もうとしていた。
(自然との関わり・生命尊重)
- 蚕の成長や変化を見て気が付いたり驚いたりしたことを友達と伝え合っていた。
(自然との関わり・生命尊重)(言葉による伝え合い)
- 繭玉を見たり触ったりして、「ふわふわしてるね」「思ったより硬いんだね」等、気付きや発見を言葉に表して友達と共有していた。
(思考力の芽生え)(言葉による伝え合い)
- 「どうやってやるの?」「ここを持って、こうするんだよ」と、お互いに教え合いながら最後まで粘り強く繭玉のお花作りをしていた。
(道徳性・規範意識の芽生え)(自立心)
- 繭玉のお花作りをしながら「〇〇ちゃんが作ったお花、きれいだね」と、お互いの頑張りや取り組みの良さを認め合っていた。
(協同性)(言葉による伝え合い)
- 「お店屋さんごっこに必要な物は何か」をみんなで話し合って考え、お互いの発想を認め合いながら用意していた。
(社会生活との関わり)(言葉による伝え合い)(思考力の芽生え)
- お店屋さんごっこやお店体験で「いらっしゃいませ」「お花のコサージュを売ってますよ」「一つ百円です」と接客をしたり、「お客さんから見て、こんな風に置いた方が見やすいよ」と考えたりして楽しんでいた。
(社会生活との関わり)(思考力の芽生え)(協同性)



小学校教育とのつながり

- 生き物の成長の様子やその変化を観察することは、生活科や理科の「生きもの」に関する学習につながります。
- 生き物を大切に育てる体験は、特別の教科道徳の「生命尊重」や「自然愛護」の学習へつながります。
- 繭玉を使ったお花作りではさみを使ったり、針金を通したりする体験は図画工作の学習につながります。
- クラス全体で同じ目標に向かって話し合ったり協力したりする活動体験は、小学校生活でよりよい学級を形成するための基礎となります。

